

## トマト黄化葉巻病防除（タバココナジラミ対策）の徹底！

平成17年12月に府内で初めてトマト黄化葉巻病が発生しました。その後、現在までに府南部の9箇所のハウスで発生を確認しています。平成19年10月以降に発生したハウスで、その後の発病株率の推移を確認したところ、初発生確認時に6%~19%であった発病株率が、タバココナジラミが少発生であったにもかかわらず、収穫後半には40%~100%と急激に増加することが分かりました。

**トマト黄化葉巻病は、タバココナジラミ類が媒介するウイルス病で、ハサミなどによる汁液伝染や種子伝染及び土壌伝染の心配はありません。**

現在、国内で問題となっているタバココナジラミには、従来シルバーリーフコナジラミと呼ばれていたバイオタイプBと平成17年10月に府内で新たに発生が確認されたバイオタイプQがあります。

**露地では越冬できないと考えられますので、冬の間にはハウス内のタバココナジラミを徹底的に防除しておく必要があります。** ついては、基本事項に留意の上、現在のハウスの状況に合わせて以下のように対応してください。

### 基本事項

トマト黄化葉巻病の発生・拡大を防ぐためには、「トマト黄化葉巻ウイルスの**伝染環を絶つ**」ことが必要です。そのためには、トマト黄化葉巻病発生ハウスでは**発病株の抜き取り**を行うとともに、**タバココナジラミ防除**のための防虫ネットや黄色粘着ロール及び農薬等を組み合わせた「総合的害虫管理」が重要です。

- (1) 施設内にウイルス・コナジラミを「**入れない**」。
- (2) 施設内・施設周辺のコナジラミを「**増やさない**」。
- (3) 施設内からコナジラミを施設外に「**出さない**」。

### 1 栽培が終了または終了が近いハウス

- (1) 栽培が終了したら、直ちに出入口やサイドなどの**ハウス開口部を2週間程度開放し、冷気にあてコナジラミの越冬を防止する。**
- (2) **トマト残さや雑草**はコナジラミの越冬に有利に働くのでハウス内から**除去**する。
- (3) できれば、ハウス開放1週間後に黄色粘着板を設置し、コナジラミの残存状況を確認する。

### 2 栽培中のハウス

- (1) コナジラミの密度の上昇が緩慢なこの時期に農薬散布を行い、できるだけ発生量を減らしておく。
- (2) **薬剤がかかりやすいように整枝、剪定**を行う。
- (3) ハウス内の**雑草を除去**する。

### 3 これから栽培を始めるハウス

- (1) 施設の**開口部（サイド、出入口、天窓等）**を目の細かい（目合い0.4mmが理想）**防虫ネットで被覆**する。
- (2) **黄色粘着ロール**をハウス開口部に**展張**する。
- (3) **黄色粘着板**を設置し、**コナジラミ類の発生動向の把握**に努める。
- (4) 施設栽培では、**近紫外線カットフィルムの利用が有効**である。
- (5) **育苗時や定植時に粒剤を施用**するなど防除を徹底する。
- (6) 発病の疑わしい株は定植しない。
- (7) ハウス内及びほ場周辺の**雑草や野良生えトマトの除去**を徹底する。

#### 4 トマト黄化葉巻病が発生しているハウス

- (1) **発病株は**トマト黄化葉巻ウイルスの伝染源となるので、**見つけ次第抜き取る**。抜き取った株は、土中に埋めるかビニールなどで覆って枯死させる。
- (2) **トマトの残さをほ場周辺に放置しない**。また、**ハウス内の雑草を除去する**。
- (3) **栽培終了時に、全ての株を地際から切断するか抜き取った後、ハウスから持ち出し、(1)に準じ処分する**。その後、**施設を開放(10日~2週間)し寒さに当て、タバココナジラミを死滅させ、その越冬を防ぐ**。
- (4) **現在、栽培しているトマトの株元に次作の苗を定植しない**。

#### 5 農薬の使用について

- (1) 登録農薬に対する薬剤感受性の低下を回避するため、**同じ農薬及び同一系統に属する農薬の連用は避ける**。
- (2) 農薬の使用に当たっては、農林水産省ホームページの「農薬コーナー」で最新の農薬登録情報を参照し、適正に防除する。
- (3) 下葉の裏側まで薬剤が十分にかかるように散布する。  
 なお、京都府農業総合研究所及び病害虫防除所が共同で実施した薬剤効果試験の結果、**下記の農薬が効果的と判断**しました。

農薬グループ	農薬名	剤型	使用基準		コナジラミ類	効果
			使用時期 【収穫 日前まで】	使用回数		
【土壌施用剤】						
ネオニコチノイド剤	アルバリン スタークル	粒剤	育苗期	1回		成虫
	定植時					
	生育期 但し、収穫前日まで		2回			
	ベストガード	粒剤	は種時又は鉢上げ時	1回		成虫
			育苗期			
その他剤	チェス	粒剤	育苗期後半	1回		成虫
【茎葉散布剤】						
ネオニコチノイド剤	アルバリン スタークル	顆粒水溶剤	前日	2回		成虫
	ベストガード	水溶剤	前日	3回		成虫
I GR 剤	アプロードエース	フロアブル	前日	3回		幼虫
その他剤	チェス	水和剤	前日	3回		成虫
		顆粒水和剤				
	ハチハチ	乳剤	前日	2回		幼虫
その他剤	アフーム	乳剤	前日	5回		成虫
	スピノエース	顆粒水和剤	前日	2回		幼虫
殺ダニ剤	コロマイト	乳剤	前日	2回		幼虫
	サンマイト	フロアブル	前日	2回		幼虫、成虫
微生物剤	ポタニガードES	乳剤	発生初期	-		幼虫、成虫

\*但し、**アフーム乳剤とスピノエース顆粒水和剤については、トマトの登録はあるが、コナジラミとしては登録適用されていない**。また、ポタニガードESは、野菜類として登録されている。

\* トマト黄化葉巻病の感染が疑わしい株を見つけた場合は、病害虫防除所または最寄りの農業改良普及センターまで連絡してください。